

令和元年度 大垣市教育振興基本方針評価委員会 第1回会議録

- 1 **と き** 令和元年7月18日（木） 13:30～15:00
- 2 **と ころ** 大垣市役所北庁舎北館1階 教育委員会室
- 3 **出席者** 三宅治委員長、長谷川哲也副委員長、井上瞳委員、加藤栄二委員、
三代広子委員、川合麻美委員、土川達也委員
 (欠席 田村弘司委員)
- 4 **事務局** 山本教育長、守屋事務局長、山下庶務課長、渡邊学校教育課長、
石橋教育総合研究所長、堀社会教育スポーツ課長、
中井文化振興課長、大谷上石津地域教育事務所長、
加藤墨俣地域教育事務所長、中山南部北部学校給食センター所長、
安田図書館長、三輪まちづくり推進課長、杉田市民活動推進課長、
浅井子育て支援課長、吉田子育て総合支援センター所長
吉安庶務課主幹
- 5 **傍聴者** なし
- 6 **議 題**
 - (1) 委員長並びに副委員長の選出について
 - (2) 平成30年度大垣市教育振興基本方針の評価について
 - (3) 平成30年度大垣市教育振興基本方針の施策の実施状況について
 - ① 学校教育分野
 - ② 社会教育（生涯学習）分野
 - ③ 青少年・家庭教育分野
 - (4) 平成30年度大垣市教育委員会の活動状況について

7 会議録

(1) 委員長並びに副委員長の選出について

委員より事務局案提示の発言があり、事務局案どおり、三宅委員長、委員を選任。

(2) 平成30年度大垣市教育振興基本方針の評価について

資料に基づき、山下庶務課長が説明。

質問、意見なし。

(3) 平成30年度大垣市教育振興基本方針の施策の実施状況について

① 学校教育分野

資料No.2に基づき、渡邊学校教育課長が説明。

以下、質疑応答の概要。

発言者	発言概要
委員	資料No.2の12ページにある指標は、全児童生徒の割合か。すごく高い。
渡邊 学校教育課長	学力状況調査を受けた、小学6年生・中学3年生が対象となっている。
委員	あくまで意識調査。試験との相関などを探るとより良い。
委員	全国と同じ程度か。
渡邊 学校教育課長	全国や県よりも高い。テスト結果も全国平均を上回っており、成果は出ていると考える。
委員	17ページの初期指導教室がD評価だが、分析内容を具体的に教えてほしい。
渡邊 学校教育課長	今年の4月1日の人数だが、日本語指導が必要な子どもは230人で、国籍は、ブラジル127人、中国45人、フィリピン28人、ペルー13人、アメリカ2人など。それ以外は、ベトナム、ネパール、ラオス、スウェーデン、モンゴルなどの言語となっている。
山本 教育長	初期指導教室などの指導者は市費で配置している。入管法改正により、さらなる増加が予想されるため、国や県に配置要望しているが、なかなか厳しい状況である。ご理解いただきたい。
委員	D評価なのに、さらに目標値は上がっていくというのはいかがなものか。達成に向けて進めてほしい。
山本 教育長	5年間の目標を策定時に決めるため、単年度で変えられない。
委員	最終年度の達成状況とプロセスが大事である。どのような推移であったのかなど来年度評価することになる。

発言者	発言概要
委員	23ページも同様に、5,000人という目標は変えられないかもしれない。 A～Dという評価だけで判断するのはいけない。

② 社会教育（生涯学習）分野

資料No.2に基づき、堀社会教育スポーツ課長が説明。

以下、質疑応答の概要。

発言者	発言概要
委員	28ページの学校支援コーディネーターは、どんな役割で、どのような年齢構成か。
堀 社会教育 スポーツ課長	年齢は不明であるが、退職されたくらいの年代が多い。PTAの方も入っている。 役割は、環境整備や安全支援、学習支援、行事支援である。
委員	配置校が1校しか増えていない。伸び悩んでいる理由は何か。
堀 社会教育 スポーツ課長	校長の要望を聞きながら配置している。小学校は1校のみ配置がない。 中学校は4校しか配置していない。中学校は、小学校区を越えた地域が対象となるため、やっていただける方がいないなどの理由が考えられる。 引き続き、配置を進めていきたい。
委員	資料No.3の21ページ、アンケート結果を見ると、学校支援ボランティアの取組みについて、「良い」「どちらかといえば良い」で90%を超えている。
委員	研修会はやっているのか。
堀 社会教育 スポーツ課長	年2～3回ほど開催し、学校ごとの課題を交流している。
委員	私の学校は同じ方が4年やっている。代替わりの時期が来ることを考えると、次の方をどうするか懸念している。

③ 青少年・家庭教育分野

資料No.2に基づき、堀社会教育スポーツ課長が説明。

以下、質疑応答の概要。

発言者	発言概要
委員	地域のおじさん・おばさん運動とは何か。

発言者	発言概要
堀 社会教育 スポーツ課長	地域の人が散歩や夕涼みなどしながら、見守りや声かけをする活動で、その考え方に賛同された方が登録されている。
委員	34ページのインターネット講話とは、どのようなものか。
堀 社会教育 スポーツ課長	全小中学校で子どもたちに講話を行っている。加えて大人向けも家庭教育として行い、目標の40回までいけるようにしたい。
委員	32ページの親子がふれあえる機会の満足度が46.9%だが、どのようなものか。
堀 社会教育 スポーツ課長	資料No.3の24ページのアンケートに基づく数値で、分からないと回答した方を引いた人数を母数として計算している。
委員	リーダースクールとはどのようなものか。
堀 社会教育 スポーツ課長	ジュニアリーダーを市や子ども会で育成している。
委員	子ども会から選ばれた子が日帰りや一泊の研修を受ける。基本は小学生。中学生も声をかけているが、小学校高学年が多い。強制ではなく、やりたい子が手を上げるため、高い数字になりにくい。
委員	36ページの家庭教育学級への参加率が下がっているが何故か。
堀 社会教育 スポーツ課長	家庭教育に熱心な方は参加していただけるが、そうでない方の参加率をあげるのは難しい。
委員	働いていると参加できない。そのあたりを変えていかないといけない。
堀 社会教育 スポーツ課長	企業内家庭教育学級をやっていたいただいているところもあり、平成30年度は4社に講師を派遣した。
山本 教育長	小中学校での家庭教育学級では、家庭でハグというテーマとするなど、新しい取り組みも行っている。できるだけ多く参加できるよう工夫しているところである。
委員	私の学校でも校長講話をやめ、土曜日に学校に来て、親子でものづくりなどに変えている。 38ページの家庭の日の親子のふれあいについて、何をしたか分かるか。
堀 社会教育 スポーツ課長	把握していない。
委員	一緒にゲームというのも入っているかもしれない。調べると良いと思う。
委員	平日の授業参観では、男性が少ない。企業と連携して参観の日は早帰りなどになると良い。

発言者	発言概要
委員	親という言葉は、保護者にはならないか。 資料No.3のアンケートの後半に良い意見がある。反映する場はあるか。
山下 庶務課 長	反映できるものは反映する。

- (4) 平成30年度大垣市教育委員会の活動状況について
資料に基づき、山下庶務課長が説明。
質問、意見なし。

閉会